

## 1. 平成 23 年度関東支部セミナーのご案内

1. テーマ： 震災・原発事故後の現状を知り、何ができるか、そして何をすべきかを考える

2. 開催趣旨：

平成 23 年 3 月 11 日、日本における観測史上最大のマグニチュード(Mw)9.0 を記録し、未曾有の被害とこれに伴う深刻な原発事故が発生しました。そして今、各所に残留する放射性物質による食への不安が日を迫うごとに増加しています。

今年度の関東支部セミナーは、被災地及びその周辺地域の現状、世界から見た日本の現状を冷静に且つ正確に把握し、食料生産・流通・環境保全などの技術開発研究を基盤とする我々(農業機械学会)に期待される次の一手を考える端緒としたいと考えています。

そこで、テーマを「震災・原発事故後の現状を知り、何ができるか、そして何をすべきかを考える」と題し、農業機械分野に限らず、幅広い分野の講師の方々から情報提供をしていただく予定であります。多くの皆様のご参加を期待しております。

3. 主催：農業機械学会関東支部、協賛：生物系特定産業技術研究支援センター

4. 日時：平成 23 年 12 月 16 日（金） 13：00～16：30

5. 場所：(独) 農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター  
散布実験棟 3 階会議室、埼玉県さいたま市北区日進町 1 丁目 40 番地 2

6. 参加費：一般 3,000 円、学生 1,000 円（当日会場でお支払い下さい）

7. 参加申込：

E-mail または FAX にて、農業機械学会関東支部事務局（宇都宮大学 農学部 農業環境工学科 圃場機械学研究室）までご連絡ください。

FAX：028-649-5496、E-mail：jsam.kanto@env.mine.utsunomiya-u.ac.jp

8. 参加申し込み締め切り：12月9日（金）

9. 問い合わせ先：

このセミナーに関するお問い合わせは、紺屋 秀之（セミナー担当幹事）までお願いいたします。TEL：048-654-7070、E-mail：hkonya@affrc.go.jp

10. プログラム、講演者等

1) 受付開始 12:30

2) 開会 13:00

3) 挨拶 13:00～13:15

(1) 農業機械学会 関東支部長 志賀 徹

(2) (独) 農業・食品産業技術総合研究機構 理事 行本 修

4) 講演会 13:15～16:00（途中 20 分程度のコーヒープレイクあり）

(1) 被災地周辺の農作物の生産流通に関する震災後の行政対応

講師：農林水産省 生産局 農産部園芸作物課 園芸流通加工対策室 室長 小林 勝利 様

(2) 被災地ボランティアの活動現場から一変わってしまった街、変わってゆく街、取り残された街に携わって—

講師：宇都宮大学国際学部 4年 元青年海外協力隊 看護師 小林 ひとみ 様

(3) 福島第一原発の事故により設定された警戒区域に残された動物について

講師：新庄動物病院 院長 獣医師 今本 成樹 様

(4) 除塩・除染の取り組みについて

講師：スガノ農機株式会社 取締役 営業本部統括担当兼府県営業部 部長 小澤 良夫 様

(5) 震災・原発事故による日本産農産物等輸出への影響（中国を中心に）

講師：愛知大学現代中国学部 准教授 阿部 宏忠 様

5) 総合討論 15:50~16:30

6) 閉会 16:30

### 1 1. 会場案内図

J R大宮駅西口6番乗り場より、東武バス「三進自動車」または「シティハイツ三橋」行き乗車約10分、自衛隊入口で下車、徒歩5分。生研センター散布実験棟3F会議室（所内案内板設置予定）

案内図 URL：[http://brain.naro.affrc.go.jp/iam/Guide/iam\\_guide.html](http://brain.naro.affrc.go.jp/iam/Guide/iam_guide.html)

